

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		010101020200		事業の種類		4	
年度	23	事務事業名	乳幼児等医療費助成事業	予算事業名	乳幼児等医療費助成事業	重要度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名 市民環境部市民課			
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	石井 義宏
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		乳幼児等医療費助成事業					
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	乳幼児等医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	乳幼児等医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

2 事業の概要 Do

実施の概要		乳幼児(0歳～小学3年生)の医療費の一部を助成する 21年度以降は市単独事業として、自己負担を無料とする。 (20年度までは、0歳～義務教育就学前乳幼児までの自己負担を無料。)				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	助成費	円	53,488,559	59,501,556	62,310,320	68,430,000
	助成件数	件	26,141	29,819	32,942	32,400
	平均受給者数	人	2,053	2,024	2,030	2,030

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.262	0.236	90	0.234	99	0.258	110	
	臨時職員	0.100	0.100	100	0.031	31	0.026	84	
支出内訳	人件費	2,589,248	2,377,536	92	2,235,571	94	2,360,532	106	
	事業費	53,488,559	59,501,556	111	62,310,320	105	68,430,000	110	
	合計	56,077,807	61,879,092	110	64,545,891	104	70,790,532	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	15,208,300	15,253,800	100	16,486,374	108	20,818,000	126	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	40,869,507	46,625,292	114	48,059,517	103	49,972,532	104	
合計	56,077,807	61,879,092	110	64,545,891	104	70,790,532	110		

※ 事業の進捗状況

項目		21年度	22年度	23年度	24年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの乳幼児等医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標	31,992	29,373	91.8	31,618	107.6	33,709	106.6	
	実績	26,054	29,398	112.8	30,695	104.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		乳幼児等医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	258	-	73	28.3	
	実績	99	80	80.8	68	85.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	子育て世代が安心して子育てできるよう乳幼児(0歳～小学3年生)の医療費の自己負担分の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図った。	5
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の乳幼児等に対し、適正な医療費助成を行った。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	1件当たりのコストを節減した。	5
	執行体制の効率性	実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	医療費の動向に注視しながら、事業を継続していく。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	適正な受診の周知を図る。



配点	32.5
総合評価	32.5